

平成25年度大学コンソーシアムとちぎ 学生活動支援事業 報告書

機 関 名	獨協医科大学
団 体 等 名	Activity of Regional Medicine (ARM)
学生代表者氏名 (所属・学年)	獨協医科大学 医学部 4年 阿久津 律人
責任教職員氏名	獨協医科大学 医学部薬理学講座 主任教授 安西 尚彦

1. 事業名	一次救命処置(BLS)体験
2. 実施時期	平成25年9月15日(日), 9月16日(月), 平成26年2月15日(土)
3. 実施場所	獨協医科大学、壬生町保健福祉センター
4. 事業の内容等	9月に行われた大学祭、および2月に壬生町の保健福祉センターにて、心肺蘇生法の講習会を行いました。講習の方法としては心肺蘇生法の概要をスライドを使用して示しながら、実際に訓練用の人形を使って参加して下さった方々に体験していただくというものです。最後には再びスライドを使用して、選択形式のクイズを行い、講習の内容を定着していただけるようにし、参加者には記念品としてキーホルダー型のフェイスシールドを配布しました。また、講習がどうであったかを評価していただくようにアンケートを配布して、自分たちのよかった点、悪かった点をフィードバックしていただき、今後の課題として受け止めました。
5. 事業の成果と今後の課題	実施した3日間を通して、幅広い年齢層の方々にご参加いただきました。途中で帰られる方もいらっしゃったので全ての方からアンケートを回収することはできませんでしたが、回答者のほとんどの方から「満足」の評価をいただき、自由回答欄にも「来年もやってほしい」という意見も多く見られたので、良い活動になったのではないかと考えております。 今後の課題としては、活動範囲を広げていきたいと考えております。アンケートの回答にも「AEDの使い方が分かってよかった」とありました。AEDは人を救うために重要な誰でも使える機械ですが、その使い方を知らなければ普及しても意味がありません。一次救命処置ではAEDの使い方も含まれているので、効果があると思っております。 この活動は平成25年12月8日に行われた第10回「学生&企業研究発表会」でも報告することができ、このような活動をこれからも続けていきたいと思いました。

- (注) 1. 記述が枠内に収まらない場合は、枠を拡大してください。
2. 事業内容がわかるような資料や写真などがあれば添付してください。
報告書(添付書類を含む)はA4判5枚以内にまとめてください。
3. この報告書は、各関係機関等に公表するとともに、大学コンソーシアムとちぎのホームページへの掲載を考えております。また、次年度以降の学生活動支援事業に役立てていきたいと思っております。

